

韮崎都市計画道路 1・4・1号 双葉・韮崎・清里幹線 環境影響評価準備書説明会  
 主な質問と回答の要旨

◆環境影響評価の手続きに関すること

質問	回答
北杜市での説明会回数が少ないのではないのか。	北杜市については、今後、説明する場を設けることを検討します。
方法書手続きの際の住民意見はどのように反映されているのか。	方法書に対する知事意見は、方法書手続きの際に頂いた住民意見に配慮して作成されており、その知事意見を踏まえ、準備書を作成しております。
基準値は、直接人体に影響がない基準なのか。	基準値は、法で定められたものであり、人の健康や生活環境に影響が生じない値として定められています。
水の汚れなどはどのように評価しているのか。	環境影響評価項目の水質に水の汚れ、水の濁りがあり、水の汚れはpH、濁りは浮遊粒子状物質（SS）で評価しています。
住民が普段使っている地下水（井戸）は、調査したか。	地下水は、水源として利用されている主要な井戸について調査をしており、各戸で利用されている井戸については、事業実施段階で必要に応じ、調査をする予定です。
稗田用水は、10m程度の水位低下の予測結果だが、影響はないのか。	稗田用水は、文献調査で確認していますが、断面二次元浸透流解析により、10m程度の低下が予測されています。10m程度の低下について、影響が大きい・小さいという評価ではなく、事業実施段階で詳細な調査を行い水位を確認していきます。
トンネル掘削時、簡易水道に影響が出たら、工事を中止することもあるのか。	事業実施段階において、詳細な調査を行い、影響が予測される場合は、観測修正法による環境保全措置などにより簡易水道に影響を及ぼさない方法を検討して対応することになります。
地下水の事後調査はどのように行うのか。	一般的に、観測孔を設置して計測し、変動を見ることになります。

<p>農業用水への影響は調べているのか。</p>	<p>事業実施段階で具体的な検討を行い、農業用水への排水を避けるよう検討を行います。</p>
<p>動物の移動経路の確保や代替巣の創出はどのようなものか。</p>	<p>「代替巣」は、人工的な巣を工事に影響がない場所に用意することです。</p> <p>「移動経路の確保」は、ヤマネなどを対象とした環境保全措置で、道路により分断されないように移動経路などを付けることです。</p>
<p>北杜市の景観が阻害されることをどう考えているか。</p>	<p>景観と調和するように、事業実施段階で詳細な検討をすることになります。</p>
<p>世界かんがい施設遺産に登録されている村山六ヶ村堰疎水の灌漑設備に影響はないのか。</p>	<p>村山六ヶ村堰疎水の灌漑設備の改変はない計画としており、また、ルート付近では、疎水が暗渠となっていることから、影響はないと考えております。</p>
<p>埋蔵文化財が出て来た場合、保全対策を行うのか。</p>	<p>事業実施段階で遺跡等の有無を確認しながら工事を進めていくことになります。</p>
<p>各予測評価の結果が「実行可能な範囲内で回避又は低減されている」となっているが、具体的に示してほしい。</p>	<p>ご指摘の評価結果については、総括的な評価として記載しています。</p> <p>詳細な各予測評価、評価の理由については、準備書本編に記載しています。</p>
<p>事後調査は、だれが、いつの段階で行い、公表するのか。</p>	<p>環境の状況及び環境保全の実施状況を把握するため、事業予定者が専門家等の意見を伺いながら、工事前、工事中、工事後の調査を行い、条例に基づき公表される予定です。</p>
<p>工事の着手時期、完了時期はいつ頃か。</p>	<p>工事着手時期、完了時期は、未定です。一方、準備書では、工事期間を15年と想定し、評価をしています。</p>

◆ルート・構造に関すること

質問	回答
長坂ICと（仮称）長坂JCTの距離について、具体的にどのように基準を満たしているのか。	道路構造令の解説と運用に基づき、加速車線210m、減速車線150mが確保されていることを確認しています。
計画交通量はどのくらいか。	約16,700台/日～21,100台/日となります。
サービスエリア、パーキングエリアは山梨県か、長野県か。	サービスエリア・パーキングエリアの計画はありません。

◆都市計画の手続きに関すること

質問	回答
公聴会の意見は、なぜ反映されないのか。	土地利用や自然環境の様々な要素、道路の安全性や走行性などを総合的に考慮し、原案が妥当であると判断をしております。
今後、都市計画審議会へどのように説明されるのか。	提出された意見とそれに対する都市計画決定権者の見解を付して都市計画審議会に提出し、都市計画案と併せて審議していただくこととなります。
公聴会には、17名の意見しかない。また、公聴会での公述者の氏名は公表されるのか。	公聴会でご意見を述べたい方には、都市計画原案の縦覧期間中に意見書の提出をお願いしており、17名の方から提出いただきました。内容については、個人情報伏せの形で公表しております。
今後、ルートを変更する余地はあるのか。	令和8年2月2日～3月16日に提出された意見書については、都市計画審議会へ提出し審議していただくこととなります。

◆事業実施段階に関すること

質問	回答
道路構造が決定した後に、説明会は実施されるのか。	事業実施段階において、詳細な調査を行い、道路構造を設計し、関係機関と協議し、地元説明会を行うこととなります。
4車線で整備されるのか。	都市計画の手続きにおいては、4車線で決定していきます。道路の整備方法については、事業実施段階において事業予定者が検討していくこととなります。
冬場は凍結や降雪が予想されるが、その対策は考えているか。	積雪や寒冷な地域であることを前提に設計は行われています。また、供用後は凍結等に配慮して道路管理が行われるものと考えています。

◆その他

質問	回答
救命医療施設への移動時間の短縮はどのくらいか。	清里駅から県立中央病院まで約6分短縮出来ることとなります。
新設ではなく、国道141号を活用してはどうか。	計画段階評価において、国道141号は雨量規制や急勾配の箇所が存在する等の課題があることから、全区間で新たに道路を整備する方針となりました。
双葉JCT、須玉ICではなく、長坂IC付近から分岐とした理由は。	双葉JCT、須玉ICからの場合、地形の改変が多く、大規模な構造物の構築が必要となり、周辺に与える影響が大きくなります。また、整備コストも大きくなることから総合的に判断し、長坂IC付近からの分岐としました。